

平成23年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 生活 (1/2 枚目)

調査の観点	発行者名	東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版
1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。		(1) 写真が大きく、イラストとのバランスもよく児童に親しみやすい。 (2) 観察ポイントに抜けがある。(例)アサガオの観察では、「つる」の部分が省かれている。 (3) 第3学年以上の総合的な学習の探究的な学習につながる「課題をもつ」「追究する」に関する観点のおさえが弱い。 (4) 版が一回り大きくなり写真の扱いも大きいのが、内容を視覚的にとらえにくく、興味・関心を喚起しにくい。	(1) 単元が時系列になっていないため、第1学年には分けにくい。 (2) 知的好奇心を満たす図鑑的ページがある。 (3) 観点を写真で示している。 (4) 教師の支援によって、気付きが深まる構成である。 (5) 発表の事例が多く、児童の発表の幅が広がる。 (6) 透明シートや半ページなどで興味を喚起する構成になっている。	(1) 種(たね)の観察など、カラーでそれぞれの種が表示されていて、分かりやすい。 (2) 資料の文字量が多い。 (3) 写真は少なめだが、ポイントはおさえている。 (4) 安全、自然の内容のバランスがよい。 (5) 児童の考えを引き出し、観点を引き出しやすい。 (6) 遊び方がイラストや写真で多く載せられ、やってみようという気持ちになる。	(1) 絵や写真が多く、見やすい。文字量が多い。また、日本の絵地図に各地の郷土行事を紹介したページは、低学年には難しい。 (2) 観点や学習ポイントに抜けがある。 (3) 「くんくんまなぶポケット」が巻末にあり、繰り返し使うことで、生活上必要な習慣や技能の定着が図れる。 (4) 観点が例示しており、指導しやすい。 (5) スキル等への誘導があり、自分で確かめられる。 (6) 児童が作ったり、遊んだりしているイラストが興味を引く。
2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。		(1) 主体的な活動の幅が広がるように記述が工夫されている。 (2) 上巻末のポケット図鑑など、資料や具体的な方法や例が多く、児童の発達段階に即した配慮がなされている。 (3) 幼・保との交流活動例や第3学年へのつながりが工夫されている。 (4) 基礎的事項の指導に加え「やってみよう」の部分を設け、児童の発展的、選択的な活動ができるようになっている。	(1) 上下の構成の仕組みが分かりにくく、利用しにくい。 (2) 記述が細かく、第1学年児童には分かりにくい。 (3) 写真が多い反面、昆虫などの生物が絵で描かれているのは違和感がある。 (4) 本のサイズが大きいわりに、紙面の使い方に無駄がある。 (5) 幼・保との交流について活動例を示している。 (6) 発展的な学習の資料は多いが、系統性が分かりにくく、利用しづらい点がある。 (7) 資料の多い分、写真がやや小さい。	(1) 記述が明確で、ポイントが大きくはっきり示されている。 (2) 分量も適当であるが、本のサイズがやや大きい。 (3) 第3学年へのつながりが工夫されている。 (4) 発展的学習の資料も豊富で見やすい。	(1) ページの脇に色抜きの小見出しがある。内容の配列も適当で活用しやすい。 (2) ページ数も簡潔にまとめている。 (3) 幼・保との交流について活動例を示してある。 (4) 植物の栽培方法や記録のとり方、発表の仕方など第3学年以降に向けて活用できる内容である。
3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。		(1) 読みやすい文章表現で分かりやすい。 (2) 発見カードの書き方が見やすく分かりやすい。 (3) 写真の並び方が分かりやすい。上巻の栽培単元ではページの体裁を工夫してアサガオと他の草花の写真を並べ、生長を比較して見やすい。 (4) イラストや5種のキャラクターは上下巻共通ではっきりして見やすい。	(1) 字が小さく、読む分量が多いので、理解に時間がかかる。また、発見カードの字が汚く、読みづらい。 (2) 漫画のようなイラストや絵本のようなページがあり、統一感が感じられない。また、吹き出しによる細かな説明が多い。 (3) 写真の配列は系統的でなく分かりにくい。 (4) 草むらの虫を探る導入に半透明の印刷を使ったり、モノクロのページを入れたり工夫されている。	(1) 第2学年は観察カードではなく作文で表現例が出ている。 (2) 挿絵や写真の説明が簡潔に表記されている。 (3) 見出し語がページの各所にあり統一されていない。 (4) 実際に児童が活動している場面の写真が多い。	(1) 観察カードが大人で表記されている。 (2) 見出しが単元ごとに色別になっていて分かりやすく、見やすい。 (3) 写真やイラストが充実している。
4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。		(1) 単元名が分かりにくい。また、単元名とその他の表記の文字の大きさが合っていない。 (2) 課題解決のための事例が詳しく、適していない。 (3) 巻末の「くしゅうどうくばこ」は、インデックスが数字だけで、開いてみないとどんな内容かが分かりにくい。 (4) 紙質はやや薄く、ざらつく。 (5) 全国どこでも使えるように工夫されている。	(1) 単元名が白抜きで見やすい。小単元名が、ページの右上にあって見やすい。 (2) おもちゃの作り方がとても詳しく載っているが、教師の使い方次第で良し悪しが分かれる。 (3) 指導書に載っているような内容も、「ものしりノート」に書かれている。 (4) スキルの情報が充実している。 (5) 印刷ははっきりしていて、見開きページが少なく使いやすい。 (6) 身近に感じられたり、地域に愛着がもてたりする写真が使われている。	(1) 課題発見のための小単元名が、左ページの左端に縦に書かれていて見やすい。 (2) 課題解決のためのスキルのページが分かりやすく充実している。 (3) 紙の材質が薄くて、破れやすそう。 (4) 写真が豊富で見やすい。 (5) 全国どこでも使えるように工夫されている。	
5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。		(1) 全体的に分かりやすく、活動に沿った内容になっている。 (2) おもちゃ図鑑などの表記も学年に合った内容になっている。 (3) 写真やイラストに「吹き出し」による説明が多く、その分、情報量が多いページもある。 (4) 構成や内容は、現在八王子市で使用しているものと似ている。 (5) サイズはAB版で一回り大きく、ページ数も多いが、紙質が違って軽い。	(1) 文字が多く、内容が難しく学年の発達段階に合っていない部分がある。 (2) 情報量が多く、説明が大人向けで児童には読み取れない。 (3) 絵本のようなイラストが特徴的で、好みに分かれる。 (4) サイズはAB版で、現在使用しているものよりも大きく、かつ、ページ数もあり重い。	(1) 目次が単元ごとにまとまり見やすく、活動の過程が分かりやすい。 (2) 見開きページが多様で工夫があり、児童が手にとって興味・関心が行く。 (3) 写真とイラストの構成はバランスが良いが、イラストはややタッチの荒さが目立つ。 (4) 版の大きいページを効果的に使っている。 (5) おもちゃづくりのページが充実していて、児童が見ながら作れるよう工夫されている。 (6) サイズはA4版で他社よりも大きい。現在、八王子市で使用しているものと比べて情報量はかなり多い。重さもあって、低学年の児童には負担が大きい。	(1) 写真やイラストが楽しく表現されており、児童の興味を引き、意欲付けに効果がある。特に、単元の導入のページの写真が効果的である。 (2) 巻末のまとめのワークシート「めもりんノート」は、活用しづらい。 (3) B5版で、現在八王子市で使用しているものと大きさや雰囲気は似ている。紙質はやや薄く、軽い。

発行者名 調査の観点	信濃教育会	光村図書	啓林館	日本教出版
<p>1 内容 (1) 児童の発達段階に対する配慮がある。 (2) 学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮している。 (3) 各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮している。 (4) 児童の意欲、関心を引き出す配慮がある。</p>	<p>見本の配布がなかったため、調査・研究せず。</p>	<p>(1) 絵や写真が大きく、分かりやすい。 (2) 学習ポイントに抜けているものがある。 (3) 第2学年の内容の表現が幼い。 (4) 絵本仕立てで、児童の興味を喚起する。</p>	<p>(1) 単元が時系列になっていないため、第1学年児童には分かりにくい。 (2) 観察するポイントに抜けがある。 (3) 単元の下に課題解決の観点が各頁の左上に書かれ分かりやすい。しかし、第1学年児童には字が小さく読み取りにくい。 (4) 児童の観察、事例カードは多いが、写真や資料が小さいので、児童には見づらい。</p>	<p>(1) 活動例が多い。 ・第1学年では、学校のできごとを家族に話すページがある。 ・児童のカード、作品が載っていて分かりやすい。 (2) 活用事例が多い。例えば、第1学年アサガオの栽培では、他の植物を対比できるなど、児童の気付きの質を高める内容である。 (3) 言語活動や表現活動の活動例が多く取り入れられている。 (4) 活動の写真を中心に構成され、次の活動に向けての意欲・関心を引き出しやすい。</p>
<p>2 構成及び分量 (1) 内容の組織配列及び発展的記述に対して配慮している。 (2) 各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮している。 (3) 教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮している。</p>		<p>(1) 活動のまとまりごとに単元が構成されているが、年間の学習活動の流れを考えると、利用する際、気を付けなければならない。 (2) 適当な分量で読みやすく、分かりやすい。 ・幼・保との交流について活動例を示してある。 (3) 飼育や栽培の方法などに関する記述が少ない。</p>	<p>(1) 幼・保との連携や第3学年以上の教科との縦のつながりがあり、扱いやすい。観点が明確で構成もしっかりしている。 (2) 分量は適当である。 (3) 社会的な認識が広がるような内容で、言葉による表現方法が具体的に示されていて発展的学習に取り入れやすい。 ・名人ブックの内容はとても詳しく、資料として価値がある。</p>	<p>(1) 活動のまとまりごとに単元が構成されているが、年間の学習活動の流れを考えると、利用する際、気を付けなければならない。 (2) 野菜作りや生き物の観察・飼育をていねいに扱っている。 ・幼・保との交流について活動例を示してある。 (3) 多様な学習カードが紹介されていて、活用しやすい。</p>
<p>3 表記及び表現 (1) 児童にとって読みやすい表現である。 (2) 印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすい。</p>		<p>(1) 分かりやすく読みやすい表記になっている。また、シンブルにまとまっている (2) 絵本のような構成のページが多い。 ・イラストの色使いが濃い。 ・写真は多く見やすい。</p>	<p>(1) 文字が小さく、読む分量が多く、理解しづらい。細かな絵や写真がびっしりと構成されたページもあり、分かりにくい。 (2) アニメ的な人物のイラストが多い。観察カードが多く取り入れられている。</p>	<p>(1) 写真やイラストが中心にページ構成がされ、文字数は少ないが表現は分かりやすい。3色のクレヨンのキャラクターが効果的である。 (2) 細密で人物の表情も豊かなイラストはすっきりしていて見やすい。見開き4ページ分を使ってイラストで活動全体の様子を示してある。イラストで全体の様子を少し、個々の生き物などを写真で紹介している構成は分かりやすい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1) 全体の構成が見通せるように配慮している。 (2) 課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮している。 (3) 印刷・装丁に対して配慮している。 (4) 地域性に対して配慮している。</p>		<p>(1) 目次のページ番号が大きく、何を表しているのかが分かりにくい。 ・中身が詳しく書かれていないので分かりにくい。 ・ホップ・ステップ・ジャンプの段階が内容に合っていない。 (2) 課題解決のためのヒントになる言葉が、所々に分かりやすく書かれている。 (3) 写真がクリアで美しいが、地の部分に白くはげているような印刷になっている。装丁は絵本のようにになっている。 ・紙の手触りがザラザラしている。 (4) 全国的に使用できる内容となっている。</p>	<p>(1) 文字が小さく、読む分量が多く、理解しづらい。 ・太字や大きな文字、言葉が多く単元名が分かりにくい。 ・写真の上に文字をレイアウトしているものは、読み取りにくい。 (2) 課題解決のために、「めいじんブック」は効果的に利用できる。 (3) 開きやすい装丁である。 (4) 特別な地域性は感じられない。</p>	<p>(1) 全体を見通せる単元名の表記となっている。 (2) 巻末のスキルのページが、項目ごとにまとめられており使いやすい。課題解決のために参考になる写真や資料が入っている。 (3) 目次と巻末スキルページに点字が入っている。巻末のスキルページのインデックスはイラストで見やすく、開きやすい。 (4) 生き物や植物の写真が多く、自然の多い地域に適している。</p>
<p>5 総合所見 (1) 教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2) 現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>		<p>(1) イラストに特徴があり、好みに分かれる。各ページ、写真やイラストが多く、文字は少なめである。各単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」というように段階を分けており、また、最後に振り返りの活動を入れているのが特徴である。 ・活動のまとまりごとの内容は分かるが、年間の学習活動の流れが理解しにくい部分があり、指導者の取り扱い方によって差が出る可能性がある。 (2) A B版で、現在、八王子市で使用している教科用図書と比べて一回り大きい。 ・表紙が絵本のように、生活科の学習と違和感がある。</p>	<p>(1) B5版。1ページにいろいろ写真・イラストがあり情報量が多い。 ・ページによっては文が多く写真が少なめで、活動の様子が伝わらづらい。 ・見学や校外学習の注意事項が文章だけで分かりにくい。 ・「めいじんブック」は面白く内容も充実しているが、低学年の児童が活用しきるためには課題がある。 (2) 上下巻は、現在、八王子市で使用しているものと同じB5版であるが、情報量はかなり多い。 ・A5版の「めいじんブック」が分冊であるのは、第1・2学年児童にとって使いにくいと考えられる。</p>	<p>(1) 写真の児童の表情がとても良い。「わたしとせいかつ」というタイトルに沿った内容構成・表現がされている。 ・栽培単元などでは、ページを折ることで、生長の過程が一目で分かる工夫がされている。 ・各単元の活動の注意事項が図式化されていて分かりやすい。 ・活動内容をイメージしやすい構成になっている。 (2) B5版。現在、八王子市で使用している教科用図書と比べて、表紙や写真がよくなっている。</p>